

芦田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、芦田川水系においても事前防災対策を進める必要があります。
- 芦田川は、一度氾濫が起これば、下流低平地に広範囲に浸水被害が広がりかつ長期化する特性を有しており、平成30年7月豪雨においても広範囲に浸水被害が発生したことを踏まえ、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成30年7月豪雨と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

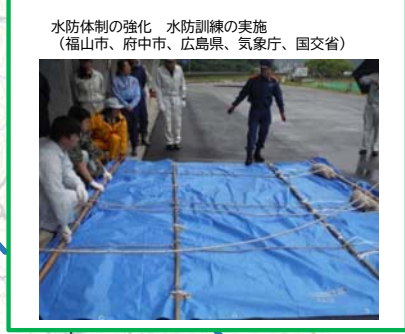


【流域内】森林整備・治山施設整備



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・河道掘削、堤防整備、橋梁架替、浸透対策、排水機場整備 等
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・普通河川の河道掘削
 - ・ため池を活用した雨水貯留施設整備
 - ・水路改修・浚渫
 - ・森林整備、治山施設整備
 - ・利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、広島県、三原市、福山市、府中市、世羅町など）
 - ・改修を行う農業用ため池について活用を検討

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・防災・減災のための住まい方や土地利用の推進



- 凡例
- 国による河川対策
 - 県による河川対策
 - 市による流域対策
 - 内水（H30年7月豪雨）
 - 越水・溢水（H30年7月豪雨）
 - 芦田川流域
 - 県による砂防対策

※主な河川対策、砂防対策、流域対策を抜粋して記載

芦田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

● 芦田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

平成30年7月豪雨では、福山・府中市域において内水による浸水被害が先行して発生していることから

【短期・中期】 福山市街地等での浸水被害を防ぐため、下流部の河道掘削、排水機場の整備、雨水貯留施設の整備、浸水対策補助制度の検討・創設や防災ステーションの整備等を実施し、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・関係機関との実践的な訓練・排水計画の策定などソフト対策を継続的に実施する。

【中長期】 芦田川の中流部及び上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削、浸水対策補助制度の検討・創設や防災ステーションの整備等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	対策工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策			草戸水呑地区 河道掘削		
	福山市街地等での浸水被害を防ぐため、下流部の河道掘削	国交省 広島県	草戸・水呑地区		
	芦田川の中流部及び上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削及び支川の河道拡幅、護岸整備、排水機場整備		福川・天王前川排水機場	土生・目崎・父石地区	
			西谷川・加茂川・福川・吉野川	御幸・郷分・駅家地区 新市・芦田地区 中須地区	
				神谷川・瀬戸川・有地川・御調川・服部川	
			ポンプ増設 分解整備、更新等	ポンプ場増設等	
	内水被害を軽減させるため排水機能の向上	福山市	大橋、御幸、小山、川南、掛上樋門、戸手ほか	森脇、千田、小森、谷尻、佐波、津之郷ほか	
	ため池を活用した雨水貯留施設等整備	福山市	珠池、豊田池、丙里池、平田池、正藤池ほか		
砂防堰堤等の整備による土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
森林整備、治山施設整備による雨水の流出抑制	林野庁 広島県 森林整備センター	森林整備			
		治山施設整備			
被害対象を減少させるための対策	防災・減災のための住まい方や土地利用の推進	福山市 府中市	浸水対策補助制度の検討・創設		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策			危機管理水位計増設 避難計画等の策定	関係機関との実践的な訓練など継続的な取組	
	広域避難を考慮したハザードマップの改訂周知等、タイムラインに基づく実践的な訓練、防災教育や防災知識の普及	国交省 気象庁 広島県 福山市 府中市	広域避難計画の策定、要配慮者施設の避難計画の作成	要配慮者施設の避難計画に基づく訓練促進、タイムラインに基づく実践的な訓練、防災リーダー研修、マイタイムライン普及促進等	
	より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化、避難行動、水防活動、排水活動に資する水防資機材の配備		防災ステーションの整備・検討	防災ステーション整備	
	排水計画の作成および排水訓練の実施		関係機関が連携した水防訓練、水防団との連絡体制確保と伝送訓練、洪水リスクの高い箇所での共同点検、水防活動を支援するための資機材等の配備等		
		排水計画の作成	大規模水害を想定した排水計画に基づく訓練の実施		

■事業規模
 河川対策 約382億円
 砂防対策 約290億円(他流域含む広島県全体、R3～7年度)
 下水道対策 約51億円

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。